

令和5年（2023年）1月27日

報道機関各位

市立函館博物館長

市立函館博物館 雛人形展示について（依頼）

日頃より、当館の活動につきまして、ご協力を賜り誠にありがとうございます。
さて、当館では、1月28日（土）より「雛人形」を展示します。

多くの皆様にご来館いただくため、報道方ご協力を賜りますよう、お願い
申し上げます。

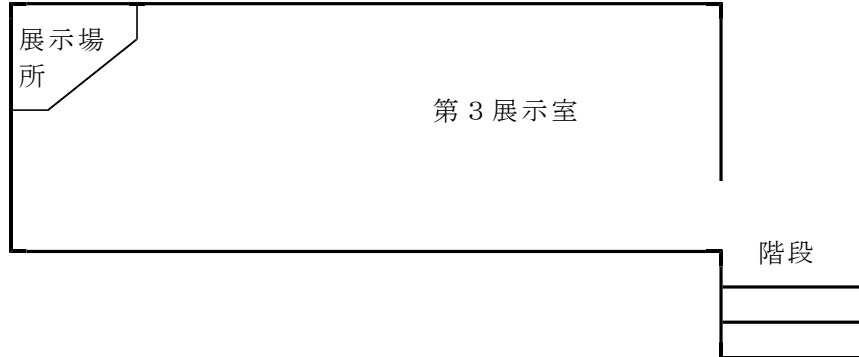
市立函館博物館

担当：保科，内田

電話23-5480番

市立函館博物館 雛人形展示について

1. 展示期間 令和5年1月28日(土)～3月30日(木)
2. 展示場所 第3展示室右奥三角コーナー



3. 展示資料

| 資料番号 | 資料名 | 説明 |
|--------------------|------------------|---|
| 601761 S57-0068 | 雛人形 | このひな人形は、弁天町で船具や荒物を取り扱う店を営んでいた「能代屋 杉野家」が所蔵していたものです。 人形は「親王びな」という男女一対のもので、幕末から明治初期に作られたものと思われます。他の道具類は、明治30年頃に京都から購入したようです。 |
| S59-0002 | 雛人形 | 大正後期に購入した、御殿タイプのひな人形です。一度に揃えたものではなく、順次買い足したそうです。 |
| 601762 | 花車 | 牡丹などの花を入れて引く車のようです。屏風などに描かれることがあります。 ひな飾りには、牛車が飾られることはありますが、花車はほとんど見られません。 この花車は、湯の川で明治20(1887)年に開業した「林長館」にあったとされる雛飾りの一部です。 |
| 800155 | 大和絵雛屏風 (六曲一双) | 雛飾りの主役、男雛と女雛の背後には、金屏風が配置されます。屏風は金屏風のほか、華やかな絵柄が描かれるものもあります。この屏風は、絵柄として男女が描かれており、人形を照らす脇役ではなく、屏風自体を飾ったと考えられます。 |

市立函館博物館
040-0044
函館市青柳町17-1 (函館公園内)
0138-23-5480
<http://hakohaku.com>
hakohaku@city.hakodate.hokkaido.jp
担当：保科



市立函館博物館「雛人形」展示